

1. きっかけ

- ・ボランティア経験を活かせると思ったから
- ・将来、保育士になりたいという夢があるから
- ・運動をすることが好きだから

2. ゴールデンエイジについて

ゴールデンエイジとは、**基本的な運動能力が最も発達する時期**のことをいい、おもに**5歳～12歳**の子どもが対象となります。この頃に鬼ごっこなどの「あそび」をたくさんやっていくことで、楽しく運動神経を発達させることができます。しかし、スクリーンタイムの増加により外で遊ぶ子どもが減っており、これが**将来の健康状態に影響を及ぼす**のではないかと考えました。そこで、みんなが楽しめるようなオリジナルのあそびを作ろうと思いました。

3. 活動内容

① あそびを考える

オリジナルあそびの条件として、**みんなで楽しめること**、**外でも室内でも遊べること**、さらにはコロナの影響もあり**接触を避けていること**を意識して考えました。限られた条件の中で考えることは大変だったし、とても時間がかかりました。

② 大和南小学校の先生とリモート会議

母校である大和南小学校の先生方に自分の考えたあそびをリモートで見てください、意見をいただきました。先生方からは、「**道具の準備が少なく、ルールも簡単で低学年の子も理解しやすい**」という評価をいただきました。



リモート会議の様子



大和南小学校での打ち合わせ

③ 小学生と交流

実際に大和南小学校の1年生を対象に、実践してもらいました。最後まで全員が笑顔で楽しく遊んでくれたのもものすごく嬉しかったです。しかし、ルール違反をする子がいて嫌な思いをした子がいたので、少しルールを見直すべきだと思いました。この経験を将来につなげていき、これからもまた新しいあそびを考えていきます。



〈活動を終えて〉コロナ禍で、自分で企画して色々な工夫をしていくことは大変でしたが、地域と関わることのすばらしさを再確認しました。まだ課題もありますが、とても濃い活動ができたと思います。

協力団体：郡上市立大和南小学校